

A 会場：多目的ホール

一般演題 1 「症例 1」

9:00~10:00

座長 菊池 右踏 (新潟市消防局)
 コメンテーター 熊谷 謙 (新潟市民病院)

- A-01 「植込型補助人工心臓」装着傷病者の救急搬送症例について
 宮古地区広域行政組合 竹花 和美
- A-02 インスリンポンプ療法「CSII」行っていた傷病者の救急搬送について
 仙台市消防局 薄衣 大樹
- A-03 自殺企図によるインスリンの大量注射後に交通事故を起こした2型糖尿病の一例
 由利本荘市消防本部 奥山 義孝
- A-04 精神科救急情報センターと連携した精神科救急症例
 盛岡地区広域消防組合消防本部 盛岡中央消防署上田出張所 名原富士雄
- A-05 インスリンポンプを装着した傷病者が低血糖発作を起こした一例
 新潟市消防局 坂西 康太
- A-06 救急隊が疑った疾患と初診時傷病名の相違について
 上山市消防本部 庄司 諒平

一般演題 2 「ヘリ連携」

10:00~10:40

座長 今泉 欣也 (郡山地方広域消防組合消防本部)
 コメンテーター 最上希一郎 (山王胃腸科)

- A-07 防災航空隊退任隊員・救急救命士として防災ヘリと連携
 大館市消防署 本署 加賀谷 進
- A-08 心拍再開後のドクターヘリ搬送が奏功し、社会復帰した冠攣縮性狭心症による
 院外心肺停止の一例
 にかほ市消防本部 高橋 俊二
- A-09 ドクターヘリとの連携により後遺症なく救命し得た蜂刺傷による
 アナフィラキシーショックの一例
 由利本荘市消防本部 小杉 俊輔
- A-10 男鹿地区消防本部管内における Dr ヘリ要請状況と今後の課題について
 男鹿地区消防本部 警防課 三浦 学



特別講演

10:50~11:50

座長 森野 一真 (山形県立中央病院 救命救急センター 副所長)

SP-1 防ぎえる外傷死・防ぎえる災害死
回避のために、これまでやってきたこと

東京医科歯科大学大学院 救急災害医学分野 教授
東京医科歯科大学医学部附属病院 副院長 兼 救命救急センター長 大友 康裕

ワークショップ2 「ドクターヘリ・ドクターカーを取り巻く諸問題」

13:30~15:00

座長 今 明秀 (八戸市立市民病院)

座長 土佐 亮一 (会津中央病院)

W2-1 岩手県ドクターヘリの転院搬送の実態

岩手医科大学附属病院 岩手県高度救命救急センター 大間々真一

W2-2 進化を続ける八戸ドクターヘリ・ドクターカー

八戸市立市民病院 救命救急センター 伊藤 香葉

W2-3 運用開始した宮城県ドクターヘリの現状と課題

国立病院機構仙台医療センター 救命救急センター 山田 康雄

W2-4 ヘリポートのない病院への搬送に伴う諸問題

山形県立救命救急センター 救急科 瀬尾 伸夫

W2-5 鹿角消防における北東北3県の連携と実績、その効果について

鹿角広域行政組合消防署 高野 隼一

W2-6 新潟県ドクターヘリの現状と問題点

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 本多 忠幸

W2-7 福島県におけるドクターヘリ・ドクターカーの現状と課題

公立大学法人 福島県立医科大学 救急医療学講座 塚田 泰彦

一般演題3 「応急手当・口頭指導」

15:20~16:20

座長 猪野 幹男 (上山市消防本部)

コメンテーター 大高 公成 (大曲厚生医療センター)

- A-11 バイスタンダー CPR をサポートするスマートフォン動画配信システムについて
名取市消防本部 熊谷 優
- A-12 応急手当受講歴の無いバイスタンダーへ口頭指導を行い救命に至った症例
横手市消防署増田分署 奥 保浩
- A-13 小学生に対する救命講習の指導技術向上への取組みについて
大館市消防本部 江幡 学
- A-14 小学校における BLS トレーニング導入について
秋田市消防本部 長岡 竜司
- A-15 口頭指導プロトコルの考察
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 鈴木 司
- A-16 7分圏外への応急手当講習会について～遠隔地の救命率向上に向けた取り組み～
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 加賀 靖

一般演題4 「教育 (救急隊員・救命士)」

16:20~17:20

座長 佐藤 良和 (秋田市消防本部)

コメンテーター 岩谷久美子 (由利組合総合病院)

- A-17 KPT を活用した症例検討の紹介～ (教育ワーキンググループの取り組み)
秋田市消防本部 秋田南消防署 佐藤 剛宏
- A-18 救急救命士及び救急隊員の生涯教育に対する意識調査について
岩手県 一関市消防本部 一関北消防署 日下 徹
- A-19 仙台国際空港における航空機事故発生時の仙台市消防局の対応について
仙台市消防局 佐藤 啓介
- A-20 救急ワークステーションを中心とした救急隊員教育—大曲仙北広域消防での取り組み
大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 大曲消防署 鈴木 一伊
- A-21 CPA 現場活動時間の短縮 ～早期リズムチェックと車内収容を考える～
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 松田 悌二
- A-22 就業中再教育病院実習の新たな取り組み～病態を考える救急救命士を目指して～
能代山本広域市町村圏組合 ニツ井消防署 関 恒成



B 会場 展示ホール

ワークショップ1 「救急隊・救急救命士生涯教育の取り組み」 9:00~10:30

座長 松田 悌二 (湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部)
コメンテーター 島田 二郎 (福島県立医科大学)

- W1-1 山形市消防本部における静脈路確保率が上昇した背景について
山形市消防本部 西崎出張所 大熊 誉久
- W1-2 仙台市における救急救命士及び救急隊員の生涯教育について
仙台市消防局 森 俊三
- W1-3 指導救命士が参画する事例検討会の有用性について 青森県八戸上十三地域における取り組み
北部上北広域事務組合 野辺地消防署 黒澤 朋之
- W1-4 救急救命士の実習経験から考える生涯学習の課題
横手市消防本部 加藤 真
- W1-5 新潟県内消防本部における救急隊・救急救命士生涯教育の取り組み
長岡市消防本部 小川 博
- W1-6 会津若松地方広域消防本部における救急救命士の再教育について
会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 田邊 正範

ランチョンセミナー

12:10~13:00

座長 花田 裕之 (青森県立中央病院 救命救急センター センター長)

- LS-1 急性冠症候群における12誘導心電図伝送の有用性
静岡県立総合病院 集中治療センター長 野々木 宏

一般演題 5 「調査・研究」

13:20~14:20

座長 荒井 勲 (仙台市消防局)
 コメンテーター 山野目辰味 (岩手県立大船渡病院)

- B-01 KED を使用した小児の全身固定の有用性について
 盛岡地区広域消防組合消防本部 盛岡南消防署 久保 勝義
- B-02 12 誘導心電図伝送システムについて
 秋田市消防本部 黒木 正剛
- B-03 救急車から医療機関への 12 誘導心電図伝送の実施状況と奏功事例について
 盛岡地区広域消防組合消防本部 紫波消防署 小寺 潤
- B-04 プレホスピタルでの 12 誘導心電図伝送システム導入に伴う現場滞在時間延長の影響について
 二戸地区広域行政事務組合消防本部 橋本 徹
- B-05 湯沢雄勝地域における脳卒中病院前救護調査の意義
 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 藤田 和浩
- B-06 「血糖測定」の実施前におけるくも膜下出血の鑑別方法について
 岩手県 一関市消防本部 一関南消防署 藤沢分署 藤野 真進

一般演題 6 「拡大処置と静脈確保」

14:20~15:20

座長 前田 芳明 (青森地域広域事務組合消防本部)
 コメンテーター 岩崎 洋一 (秋田厚生医療センター)

- B-07 救急救命士による「血糖測定及びブドウ糖溶液投与」の運用前後における比較検討
 岩手県 一関市消防本部 一関東消防署 川崎分署 千葉信太郎
- B-08 救急車内における静脈路確保の検討～可視光線の違いによる考察～
 名取市消防本部 紺野 裕一
- B-09 由利本荘市・にかほ市における救急救命士処置拡大の現状と静脈路確保成功率上昇を目指した取り組みについて
 にかほ市消防本部 平賀 俊彦
- B-10 静脈路確保の成功率向上に向けて
 能代山本広域市町村圏組合 ニツ井消防署 救急担当 山田 康広
- B-11 弘前地区消防事務組合における処置拡大の実施状況と課題について
 弘前地区消防事務組合 葛西 大臣
- B-12 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液処置に関する考察
 秋田市消防本部 藤澤 昌幸

一般演題 7 「特異事例」
15:20～16:20

座長 阿部 憲悦（秋田市消防本部）

コメンテーター 須田 志優（岩手県立磐井病院）

B-13 高温環境下における市民マラソン大会への今後の対応

男鹿地区消防本部 大湊分署 原田 専

B-14 CO 中毒による多数傷病者発生事案への対応症例

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 三戸消防署 名川分署 淡路 大

B-15 救急隊によるヘビ咬傷の病院前対応について ～重症・軽症の 2 症例の経験から～

にかほ市消防本部 伊藤 将康

B-16 外傷による呼吸停止を考慮した活動に潜む内因性疾患

秋田市消防本部 木村 享正

B-17 船上において発生した作業事故

能代山本広域市町村圏組合消防本部 八峰消防署 佐藤 洋右

B-18 交通事故による多発外傷症例について

北秋田市消防署 三沢 慶太

一般演題 8 「救急活動の工夫・取り組み」
16:20～17:20

座長 竹澤 全元（横手市消防本部）

コメンテーター 長谷川 傑（市立秋田総合病院）

B-19 本来あるべき救急車の役割とは？～緊急度と傷病程度から考える～

秋田市消防本部 酒井 大輔

B-20 秋田市における外国人への対応能力充実に向けた取り組み

秋田市消防本部 戸井田 涼

B-21 頻回救急利用者の対応について

男鹿地区消防本部 通信指令室 鈴木 光

B-22 傷病者の所持品取扱いについての試み

秋田市消防本部 藤井 佳孝

B-23 誤搬送防止への取り組み

横手市消防本部 佐藤 直樹

B-24 秋田市における転倒事故の調査研究について

秋田市消防本部 石川 善央

C 会場 研修室 1+2

一般演題 9 「CPA・CPR1」

9:00~9:40

座長 緑川 新一（日本海総合病院）

- C-01 頭部外傷をともなった心原性心肺停止患者の一症例
みやぎ県南中核病院 斉藤 有佳
- C-02 下肢虚血回避を目的とした VA-ECMO 導入直後のエコー下浅大腿動脈穿刺の有用性
東北医科薬科大学病院 救急科 遠藤 智之
- C-03 PCPS 連続 35 症例
中通総合病院 循環器内科 有明 千賀
- C-04 50 分間に及ぶ心肺蘇生を擁した心肺停止からの社会復帰例の報告
社会医療法人明和会 中通総合病院 小貫 孔明

一般演題 10 「外傷」

9:40~10:40

座長 野崎 英二（岩手県立中央病院）

- C-05 不安定型骨盤骨折を合併した外傷性大動脈損傷に対して
緊急 TEVAR を施行した 1 例
岩手県立中央病院 心臓血管外科 伊藤 校輝
- C-06 当院における外傷予測外生存例と予測外死亡例の検討
国立病院機構 仙台医療センター 救急科 三宅のどか
- C-07 頭頂部への落下物による外傷により心肺停止をきたした一例
山形大学医学部附属病院 救急科 坂口 健人
- C-08 当院に搬送された交通事故を起因とする CPA 症例の検討
山形県立中央病院 救急科 福本 幸子
- C-09 緊急内視鏡下血腫除去術を施行した急性硬膜下血腫の一例
公立置賜総合病院 救命救急センター 榎 慶太
- C-10 致命的鼻出血を繰り返した外傷性仮性内頸動脈瘤の一例
秋田赤十字病院 臨床研修センター 齋藤 文菜

一般演題 11 「集中治療 1」

13:20~13:50

座長 奥山 学 (秋田大学医学部附属病院)

C-11 ICU 緊急入室患者における qSOFA と SIRS の有用性の比較

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 上村 夏生

C-12 迅速な適応判断に基づく血漿交換療法により改善を認めた 非典型溶血性尿毒症症候群の 1 例

石巻赤十字病院 救命救急センター 横川 裕大

C-13 両側下肢痛で発症した両側腸腰筋血腫の 1 例

山形大学医学部附属病院 救急科 高橋 一則

一般演題 12 「その他」

13:50~14:30

座長 江部 克也 (長岡赤十字病院救命救急センター)

C-14 カルシウム拮抗薬中毒による低血圧に対し塩化カルシウム投与が有効であった 1 例

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 鴨田 知明

C-15 過酸化水素水による服毒自殺により喉咽頭浮腫および門脈ガス血症を来した 1 例

医療法人明和会 中通総合病院 救急部 吉田 晃紘

C-16 ショックバイタルの肺血栓塞栓症に対する開胸血栓除去術の有効性

社会医療法人明和会 中通総合病院 佐藤 誠

C-17 広範囲熱傷加療中にヘパリン起因性血小板減少症 (heparin-induced thrombocytopenia: HIT) を発症した 2 症例の報告

東北大学病院高度救命救急センター 藤田 基生

一般演題 13 「災害」

14:30~15:10

座長 内藤万砂文 (長岡赤十字病院)

C-18 東日本大震災発災後 6 年間における岩手気仙地域脳卒中発生動向のまとめ ～保健医療福祉活動下で～

岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野目辰味

C-19 東日本大震災発災後約半年間における避難所被災者の疾病分析 ～防ぎ得た死の実態と対策のために～

岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野目辰味

C-20 院内トリアージの実施状況

石巻赤十字病院 救命救急センター 石橋 悟

C-21 高齢者に対する侵襲的治療の実情

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

一般演題 14 「CPA・CPR2」

15:10~16:10

座長 一盃森博徳（盛岡地区広域消防組合消防本部）
 コメンテーター 遠藤 智之（東北医科薬科大学病院）

- C-22 山形市消防本部における CPA 社会復帰に見られる傾向について
 山形市消防本部 消防署 東出張所 永見 陽介
- C-23 新潟市の過去 5 年間のランナー CPA 症例の分析
 新潟市消防局 桜井 秀一
- C-24 CCF—Chest Compression Fraction（胸骨圧迫施行時間／全 CPR 時間）
 調査について
 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 瀧澤 守
- C-25 転院搬送中の高速道路上において救急車停車位置に苦慮した症例
 五城目町消防本部 五城目町消防署 遠藤 司
- C-26 PDA 症例の現状と課題
 男鹿地区消防本部 木元 義宗
- C-27 低血糖症例でブドウ糖投与後に心肺停止に陥った 1 症例について
 北秋田市消防署 畠山 充

一般演題 15 「調査・取り組み」

16:10~17:10

座長 仲澤 賢（大館市消防本部）
 コメンテーター 中畑 潤一（秋田赤十字病院）

- C-28 高齢者福祉施設との連携強化の取り組み
 新潟市消防局 西消防署 地域防災課 救急担当 片山 淳
- C-29 福島市の入浴事故発生状況について
 福島市消防本部 飯坂消防署 佐々木朝信
- C-30 湯沢雄勝地域における入浴事故の現状
 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 沼倉 明
- C-31 緊急時あんしんバトンの効果と課題
 横手市消防本部 横手市消防署 十文字分署 佐藤 淳
- C-32 救急隊が関わる自殺予防活動
 湯沢雄勝広域市町村圏組合 消防本部 佐々木 訓
- C-33 高齢者福祉施設からの救急需要に対する取り組みについて
 秋田市消防本部 藤田 陽光

D 会場 アート工房

一般演題 16 「医療安全」

9:00~10:00

座長 保科 寛子（新潟市民病院）

- D-01 臨地実習中の患者の急変・緊急時における看護学生の対応
秋田大学 医学部 保健学科 斉藤 南帆
- D-02 当院における RRS 導入までの経緯
公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 看護部 齋藤 真人
- D-03 ドクターハート要請時の高度救命救急センター看護師に求められる支援内容
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター 蝦名 佳子
- D-04 手指衛生に対する意識向上と手指消毒剤使用量増加への取り組み
仙台市立病院 看護部 大宮 悠希
- D-05 救急センターにおける感染対策の課題～標準予防策遵守に向けて～
東北医科薬科大学病院 救急センター 堀内 幸子
- D-06 高度救命救急センター初療室のコミュニケーションエラー防止対策
Team STEPPS® のチェックバック導入後の評価
岩手医科大学附属病院 高度救命救急センター 菊池 亜耶

一般演題 17 「集中治療 2」

10:00~10:50

座長 安彦 武（東北大学病院）

- D-07 重症熱傷患者における看護マニュアルの作成
秋田大学 医学部附属病院 柏谷 正勝
- D-08 BIS モニターを用いた集中治療室患者の睡眠パターンの調査
会津中央病院 救命救急センター 黒田 睦美
- D-09 ICU・HCU 看護師の身体拘束における倫理的視点の変化
秋田赤十字病院 菅原 彩子
- D-10 臥位からのポジション変化による血圧変動の調査
～起立性低血圧による転倒予防に向けて～
秋田赤十字病院 看護部 ICU 病棟 鈴木 光葉
- D-11 診療看護師が急性期マネジメントに関与したアルコール非依存性の
Wernicke 脳症の一例
東北医科薬科大学病院 救急科 中川 恵子

救急看護認定看護師企画 ワークショップ

13:00~14:00

NS-1 自施設ではこうやっている ～ドクターヘリコプター搬送患者の受け入れ～

秋田赤十字病院 小笠原美奈

秋田大学医学附属病院 加藤 貴則

JA 秋田厚生連由利組合総合病院 尾留川真理

市立秋田総合病院 山本 尚樹

一般演題 18 「プレホスピタルケア」

14:00~14:40

座長 上館 敬子 (八戸市立市民病院)

D-12 フライトナースが「よい活動ができた」と自己評価する業務活動

新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター・集中治療部 八鳥 公男

D-13 フライトナースの質向上に向けた取り組み

独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター 齋藤美香子

D-14 ヘリ搬送困難患者の陸路搬送への変更～他職種との連携の重要性～

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 救急外来 長澤 玲子

D-15 日本 DMAT 隊員連絡会議がもたらした成果

秋田大学 医学部 附属病院 山平 大介

一般演題 19 「救急外来」

14:40~15:40

座長 生内 秋子 (盛岡赤十字病院)

D-16 救急センターのカンファレンス開催における現状と課題

岩手医科大学附属病院 高度救命救急センター 綾織 優香

D-17 救急外来におけるコミュニケーションの現状と今後の課題

大崎市民病院 看護部 救急外来 奥山 智春

D-18 救急室患者滞在時間の実態調査～集中治療室入院群の検討～

公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 集中治療室 松本 剛

D-19 救急照会所要時間短縮への取り組み

医療法人社団 脳健会 仙台東脳神経外科病院 飯塚 千春

D-20 救急部で心肺蘇生処置を受けた患者の家族と医療従事者との関わりにおける現状調査

山形大学医学部附属病院 高度集中治療センター 高橋 千晶

D-21 救急外来における幼児の採血・点滴時のプレパレーションガイドを使用した効果

いわき市立総合磐城共立病院 渡邊 純子



一般演題 20 「トリアージ」

15:40~16:40

座長 峯田 雅寛 (山形県立中央病院)

- D-22 トリアージナース教育の課題についての検討
山形県立中央病院 救命救急センター 救急室 萩原 裕樹
- D-23 救急外来におけるアンダートリアージの要因検討
秋田赤十字病院 救急救命センター 救急外来 渡邊 裕介
- D-24 ウォークイン患者の院内トリアージ過程の検討
青森県立中央病院 看護部 救命救急センター 横浜 玲子
- D-25 院内トリアージ導入後のリーダー看護師に必要な支援内容
秋田大学医学部附属病院 看護部 ICU 加藤 貴則
- D-26 患者情報共有のための工夫～緊急度判定システム J-TAS 導入後の
救急部見取り図での患者管理～
秋田大学医学部附属病院 看護部 集中治療部 武藤 択也
- D-27 救急外来におけるトリアージ事後検証会の取り組み
秋田大学医学部附属病院 集中治療部 菅原 夏希

一般演題 21 「症例 2」

16:40~17:30

座長 杉本 正人 (男鹿地区消防一部事務組合消防本部)
コメンテーター 佐藤 誠 (中通総合病院)

- D-28 アルコール過敏症に対する活動の一例
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 高橋 亮太
- D-29 低体温症傷病者を搬送した症例
能代山本広域市町村圏組合 三種消防署 伊藤 誠
- D-30 甲状腺中毒症による低カリウム性周期性四肢麻痺で救急搬送となった一例
由利本荘市消防本部 新田 穰
- D-31 先天性疾患により意思疎通が困難な傷病者に対する課題
北秋田市消防署 金 誠治
- D-32 ランニング中にアナフィラキシーを発症した症例
秋田市消防本部 佐々木茉央